

平成20年1月の帰国隊員報告会の準備をはじめました。

contents

◇◆◇	はじめに	◇◆◇
◇◆◇	JICAからお知らせ	◇◆◇
◇◆◇	講演会のお知らせ	◇◆◇
◇◆◇	JICA筑波国際センターからお知らせ	◇◆◇
◇◆◇	全国国際教育研究協議会の紹介	◇◆◇
◇◆◇	ワークショップ参加報告	◇◆◇
◇◆◇	特集：教科書の青年海外協力隊	◇◆◇
◇◆◇	帰国後の活動について情報提供のお願い	◇◆◇

◇◆◇ はじめに ◇◆◇

筑波では曇りの予報がはずれて小雨になり
落ち葉がぬれて寒さをさそう午後となっています。

メールマガジンの第3号をお届けします。
今回も取材に基づく記事ですが、最後に平成18年度隊の
皆さんに役立つ情報提供を呼びかけています。

◇◆◇ JICAからお知らせ ◇◆◇

「現職教員特別参加制度・評価報告書」が完成しました。

国公立の教員が、現職の身分を保持したまま
青年海外協力隊に参加できる「現職教員特別参加制度」。

この度、この制度を適用して派遣された
帰国現職教員を対象としたアンケートを実施し、
その回答等の資料を元にした評価報告書が完成しました。

この報告書では、
協力隊参加経験が日本の教育現場でどのように活用されているのか、
協力隊に参加して教師自身が得たものは何か、
という点を中心にまとめています。

(ダウンロード：<http://www.jica.go.jp/activities/jocv/outline/data/report.html>)

また、ご希望の方には冊子も発送いたしますので、
国内Gボランティア参加促進Tまでご連絡ください。

(Tel: 03-5352-5559, Email: jvtprp@jica.go.jp)

◇◆◇ 講演会のお知らせ ◇◆◇

『講演会～家政分野における国際教育協力』

(国際教育協カイニシアチブ 海外派遣隊員の
家政分野に関する活動支援教材などの開発)

【日時】 平成19年11月22日(木) 14:40～17:30
(参加費・申し込み不要)

【プログラム】

1. 14:40～15:30 講演：熊谷 信広
(JICA事務局国内グループ
ボランティア参加促進チーム長)
2. 15:40～16:20 ガーナ調査報告

3. 16:20~17:30 帰国隊員に聞く

【場所】 日本女子大学目白キャンパス
百年館低層棟2階百207教室

【主催】 日本女子大学アジア家庭科教育協力プロジェクト

【問合せ】 日本女子大学家政学部被服学科 佐々井研究室

Tel/Fax: 03-5981-3485、 E-mail: sasailabo@fc.jwu.ac.jp

◇◆◇ JICA筑波国際センターからお知らせ ◇◆◇

JICA筑波 国際協力推進員の板橋国明です。

茨城県の派遣中の青年海外協力隊が参加する
メーリングリスト（現職教員を含む）を管理しております。

もし、茨城県出身で海外で活動中の隊員に伝えたい内容の連絡
がありましたら、板橋までご連絡をおねがいします。
そのまま、同MLへ転送いたします。

【連絡先】

JICA筑波 国際協力推進員 板橋国明

E-mail: jicadesk@ia-ibaraki.or.jp

JICA筑波URL: <http://www.jica.go.jp/tsukuba/index.html>

◇◆◇ 全国国際教育研究協議会の紹介 ◇◆◇

前号に引き続き、「全国国際教育研究協議会」を紹介します。

【設立の背景】

協議会の設立は“戦後の海外移住の再開”と関係し、
その後国際化に対応して「海外教育」の研究活動が
定着、活発化したようです。

【略年表】（同協議会ホームページより抜粋）

1964年 第1回全国高等学校海外教育研究会（指導教師連絡会議）開催

1975年 文部省中央教育研究団体の指定を受ける

1985年 全国高等学校国際教育研究協議会に名称を変更

2003年 全国国際教育研究協議会に名称変更
文部科学省が所管する日本教育研究連合会に属し、
加盟校は2553校。
（“あらゆる学校の国際教育に対応”するため“高等学校”をはずす）

【活動】（茨城県高等学校国際教育研究協議会『国際教育』2006年32号より）

6月 国際教育英語スピーチコンテスト

8月 全国高等学校国際教育研究大会

9月 高校生のための地球市民講座

*他に機関紙の発行などを行っています。

（詳しくは全国国際教育研究協議会HPを URL: <http://www.kokusaiken.org/>）

11月2日号.txt
編集担当 ⇒ ・設立の経緯からJICA（もと海外移住事業団）の活動の歴史の長さを感じます。

- ・（海外で生活する人のための？）「海外教育」から「国際教育」へ。用語の変遷に興味があります。

◇◆◇ ワークショップ参加報告 ◇◆◇

10月13日に筑波大学附属小学校で開かれた、

「ワークショップ 帰国隊員先生たちの実践から学ぼう

—長野県教員等ネットワークの活動を中心に—

に行ってきました。（ URL: <http://www.elementary-s.tsukuba.ac.jp/> ）

最初の発表者の西村真由子さんは、
青年海外協力隊(H11, 養護, スリランカ)のOGです。
帰国後JICA駒ヶ根訓練所で働き、長野県教員等ネットワーク立ち上げに
参加されました。

ワークショップでは、
長野県教員等ネットワークの設立経緯、活動内容、ネットワーク構築、今後の課題
について話されました。

このうちネットワーク設立の経緯と今後の課題を紹介します。

【—設立の経緯—】

(JICA駒ヶ根で) 帰国した派遣現職教員や日本人学校に行った
先生方から次のような相談を受けていました。

- ・自分以外の先生たちはどういう授業をしているの
- ・JICAに何か教材的なものがあるんじゃないの
- ・日本人学校の体験をどんな風に今の現場で生かしたらいいの
- ・他の先生方の意見を聴きたい
- ・こんな授業がしたいけどそのためには何をしたらいいの
- ・他の先生方を巻き込んで国際理解教育をするにはどうしたらいいの
- ・個人プレイになって私浮いちゃってるという悩み

一方、外国籍の住民を多く抱える長野県の教育委員会が、
JICA駒ヶ根と協力したいと平成17年に提案したが、
JICA駒ヶ根も海外経験のある先生方を把握していなかった。

この提案を契機に、教育委員会・海外経験のある先生方・JICA駒ヶ根が
協力して教員ネットワークを作ることとなりました。
長野県教員等ネットワーク登録しているのは現在約50名。
先生方の他に教員希望の講師、信州大学教育学部の学生が含まれています。

【—今後の課題—】

- ・ネットワークをどういう団体としていくか＝大きな課題
- ・ホームページの内容拡充
(=例；国の情報／子どもたちの笑顔／料理のレシピ／
衣食住に関わることを、データとして
学校ですぐ教材として使えるページにする)
- ・長野県内でネットワークを広げていくこと
- ・長野県以外にネットワークのことを知っていただく
- ・可能であれば在外を体験してこられた先生のデータベース化
- ・長野県の外国籍生徒のための進学ガイダンスとどう絡んでいくか

【 くわしく知りたい方へ 】

長野県教員等ネットワーク

URL : <http://kyoinnet-nagano.jica.go.jp/about/index.html>

西村真由子さん

E-mail : jicakjv-shiminsanka@jica.go.jp

◆◆◆ 特集：教科書の青年海外協力隊 ◆◆◆

茨城県内で使用されている小学校社会科教科書（4社）で
青年海外協力隊がどう描かれているのか調べました。
（資料：土浦市教育委員会教科書センター）

A社

单元 || 世界で活やくする日本人
内容 || (青年海外協力隊の具体的記述なし)
写真 || ①稲作指導
頁数 || -

B社

单元 || 一人ひとりの力を世界へ
内容 || 青年海外協力隊の説明、グラフ（地域別活動人数）、W隊員の紹介
写真 || ②③林業指導するW隊員
頁数 || 1

C社

单元 || 日本の国際協力について調べる
内容 || 青年海外協力隊の説明、世界地図（派遣国と人数）
写真 || ④稲作指導
頁数 || 1

D社-1

单元 || 世界で活やくする人々を招いて
内容 || S隊員の紹介
写真 || ⑤帰国後学校で体験を話すSさん ⑥任地のSさんと子ども達
⑦畜産 ⑧保健（教室で歯磨指導）⑨有機野菜栽培 ⑩公衆衛生
頁数 || 2

D社-2

单元 || 青年海外協力隊をくわしく調べる
内容 || グラフ（各年の派遣人数）、グラフ（職種と割合）、世界地図（派遣国と人数）、
H隊員の紹介
写真 || ⑪農業指導 ⑫日本語教育
頁数 || 1

【掲載写真について】

内訳：農業指導 ①④⑪⑨
畜産 ⑦
林業指導 ②③
保健 ⑧
公衆衛生 ⑩
日本語教育（屋外で観光ガイドの研修）⑫
S隊員 ⑥

- ・学習指導要領では「国際協力」として教育、医学、農業の事例を取り上げることになっていますが、学校場面は1枚。

つまり→ 隊員は農業とかで協力しているはず、まさか学校で国際協力なんて・・・。

- ・林業＋有機農業

つまり→ ただの農業開発ではなくて「環境」がとにかく大事

- ・「途上国」は、まだまだ保健面・衛生面で問題あり⑧⑩

- ・帰国後の活動写真は⑤だけ。帰国したら国際協力も終了？

つまり→ 帰国した派遣現職教員の学校還元活動は教科書に載る可能性がきっと高い？

強引にまとめてみましたが任地と比較してどうでしょうか。
実際に小学校教科書を利用した経験がある方は感想を編集までお知らせください。

◆◆◆ 帰国後の準備について情報提供のお願い ◆◆◆

前号でインタビューした野原俊之先生から、

“帰国してからは忙しいので帰国後の活動のためには

任地にいるうちから準備をしておいた方がいい”、

というアドバイスをもらいました。

11月2日号.txt

そこで一足先に帰国している先生方から、

『 任地にいる間にこんなことをしておくといいよ 』

という意見を下記宛てお寄せください。次号でまとめて紹介します。

→ << kamada@criced.tsukuba.ac.jp >>

◆◆◆ 担当者からのお願い

◆◆◆

引き続き、海外・国内活動紹介地図作成のための資料をお待ちしています。

18年度1次隊・19年度1次隊の先生方 → 活動の様子や環境が分かる写真1枚+文章（400字）
任地の緯度と経度

14年度1次隊～17年度1次隊の先生方 → 海外経験の還元活動写真1枚+文章（400字）

鎌田 亮一 (Ryoichi KAMADA)
kamada@criced.tsukuba.ac.jp
(メールマガジン担当)
筑波大学教育開発国際協力研究センター
〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1
TEL/Fax 029-853-6573
